

GRAZIA

“グラッツェ”とはイタリア語で“ありがとう”の意味。陽気なラテン民族の言葉に倣って、素直に感謝の言葉を口にできる明るい場作りを、本学科は心がけています。

本誌は学生が主体となって企画・編集をおこなっています。

もう迷わない！ 自分にあったフィールドワーク、 留学先を見つけよう！ ステイ先Checkシート

2006年度からいよいよ始まる、国際コミュニケーション学科のフィールドワーク&留学。本学科と海外との連携が強まるにつれ、選択肢も急増中。あまりにも多すぎて迷ってしまうというあなた、自分がどこに適しているか、このCheckシートで試してみましょう(あくまで参考程度、ということで……笑)

START

- ★思いっきり体を動かすのが好き **1**へ
- ★これからの言語(中国語)に賭けてみたい **2**へ
- ★机に座って、じっくり英語を勉強したい **3**へ

3

- ★自分はおおらかでアバウトなタイプ **8**へ
- ★自己主張が強いと言われる **9**へ
- ★歴史や伝統が好きで、建造物見学も大好き **10**へ
- ★落ち着いたある静かな場所によく行く **[E]**へ
- ★様々な文化が混じり合うところが好み **[H]**へ

[E] リムリック大学 **[H]** ヨーク大学

- ★街まで近くて大規模の大学希望。何でも自力でやってくそ **[Q]**へ
- ★初めての留学だから面倒見がいいところを選びたい **[T]**へ

8

[Q] フリンダース大学 **[T]** マッセイ大学

- ★家族的な雰囲気の中で、密度の濃い人間関係を育みたい **[A]**へ
- ★ブルース、ジャズなどの黒人文化に興味がある **[B]**へ
- ★気候が一年中温暖な学園都市、週末は大都会で遊びたい **[C]**へ
- ★海が大好き、海中生物も好き、時にはダイビングも **[D]**へ
- ★“大草原の小さな家”に憧れている **[G]**へ

9

[A] リンフィールド大学 **[B]** ミシシッピー大学

[C] カリフォルニア州立大学サクラメント校

[D] カリフォルニア州立大学モンレーベイ校 **[G]** モンタナ大学

1

- ★予算を低く抑えたい **4**へ
- ★ユニークなものに惹かれる **5**へ

- ★日本にいながらにして海外を味わいたい **[U]**へ
- ★子供が大好き **[V]**へ

4

[U] アジア学院 **[V]** サマースクール

- ★エキゾチックなものが好き **[K]**へ
- ★環境問題に興味あり **[L]**へ
- ★フェアトレードに貢献したい **[N]**へ

5

[K] ザンジバル島 **[L]** 中国山西省

[N] 東ティモール

2

- ★まずは小手調べに日本文化に近いところへ **6**へ
- ★どうせ行くなら、大陸へ飛び込みたい **7**へ

- ★普通の大学へ行きたい **[R]**へ
- ★こじんまり系が好み **[S]**へ

6

[R] 台湾師範大学 **[S]** 文藻外語学院

- ★ロシア文化に興味を惹かれることあり **[M]**へ
- ★日本人があまりいないところを希望 **[O]**へ
- ★週末は大都会で遊びたい **[P]**へ

7

[M] ハルピン師範大学

[O] 黒龍江大学 **[P]** 上海師範大学

- ★自分は都会派だと思う **[F]**へ
- ★大学では寮に入ると決めている **[I]**へ
- ★日本人が少ない環境がいい **[J]**へ

10

[F] ウェストミンスター大学 **[I]** リーズ大学

[J] グロスターシャー大学

特集 フィールドラインナップ、選べる目的地は22カ所

さて、あなたに合う目的地は？学生時代に一度は出てみたい海外。それぞれ違う特色があるので、各場所のHPを辞書を片手に訪ねてみれば、それだけでもぐんと夢が現実になんげ近づかず……。

【マークの解説】

☆コンテクストスタディ:異文化コミュニケーションコースの必修科目として扱われる
♪フィールドワーク:英米文化・文学コースの必修科目として扱われる
♡留学:本学科の授業単位として、まとめて読み替えてもらえる
◇HPアドレス ○コースの期間 ◆一言コメント
※情報は2005年末現在のものなので、変更されている可能性があります。

【A】リンフィールド大学 ☆♡

Linfield College

こぢんまり、アットホームな雰囲気が温かい

◇http://www.linfield.edu/ ○半年、1年

◆幅広い教養を総合的に身につける事を目的とした、家庭的な校風。日本語を教えることも可

【B】ミシシッピ州立大学 ☆♡

Mississippi State University

南部独特の黒人文化が華開く、ジャズ発祥の地

◇http://www.msstate.edu/ ○1ヶ月、半年、1年

◆比較的安い授業料で良質な教育を行っているとの定評あり。場所柄、中南米からの学生が多い

【C】カリフォルニア州立大学サクラメント ☆♪♡

California State University, Sacramento

街のどこかでシュワちゃんに会えるかも

◇http://www.csus.edu/ ○半年、1年

◆一年中温暖。移民が多いため、街はリベラルな雰囲気。週末は湖、山、大都会が楽しめる

【D】カリフォルニア州立大学モンレーベイ ☆♡

California State University, Monterey Bay

週末は、世界有数の海洋保護区域へ

◇http://csusb.edu/ ○三週間、半年、1年

◆米国でNO1の人気を誇る水族館が近くにある。湾にはラッコやアザラシ、イルカの姿も

【E】リムリック大学 ☆♡

University of Limerick

のんびりしたヨーロッパを狙うならここ

◇http://www.ul.ie/ ○半年、1年

◆クラス当たりの生徒数が少ないため、授業をみっちり受けられる。ホームステイ体験も貴重

【F】ウェストミンスター大学 ☆♡

University of Westminster

創立160年あまりの歴史を誇る正統派

◇http://www.wmin.ac.uk/ ○半年、1年

◆場所は国際都市ロンドンのど真ん中。歴史的建造物に囲まれながら、英国の伝統を味わえる

【H】ヨーク大学 ☆♡

York University

街を歩くだけで世界旅行をしている気分に

◇http://www.yorku.ca/web/index.htm ○半年、1年

◆大学から約40分のトロント市街はアジア系移民も多い多文化都市。マルチカルチャーな雰囲気

【I】リーズ大学 ☆♡

The University of Leeds

赤煉瓦の大学は、英国最大のキャンパス面積

◇http://www.leeds.ac.uk/ ○半年、1年

◆歴史と現代がほどよくミックスされた、コンパクトな街。6500室以上の宿泊施設を完備

【K】ザンジバル島での調査実習 ♪

Zanzibar Island

人情溢れるアフリカの島は、人種のるつぼ

◇なし ○約2週間

◆アジア・アフリカ・アラブ・ヨーロッパ文化が混在する、非常にエキゾチックな島で調査実習

【L】中国山西省大同で植林体験 ♪

Datong Shanxi

同じアジアの仲間達と作業を通して友情が育める

◇http://homepage3.nifty.com/gentree ○10日間

◆地球への貢献をテーマに、現地の人と共に植林共同作業。国境を越えた協力に充実感あり

【N】東ティモールでコーヒー豆収穫体験 ♪

East Timor

コーヒー豆から世界が見える、平和学実習

◇http://www.parc-jp.org/main/a_intl/etimor/ET051209

○10日間 ◆コーヒー豆がいかに製品化されているかを学ぶ体験学習。途上国とのフェアトレードにも貢献

【O】黒龍江大学 ☆♡

Heilongjiang University

日本人がいけない環境で学ぶならココ!

◇http://www.hlju.edu.cn/ ○短期、半年

◆発音が美しいと言われる東北地方にある大学。留学生用の生活施設が非常に充実している

【Q】フリンダーズ大学 ☆♪♡

Flinders University

丘にある大学は明星大学に酷似

◇http://www.flinders.edu.au/ ○半年、1年

◆キャンパス内に銀行や郵便局、美容院まで揃っているほどの便利さ。“多文化”がポリシー

【R】台湾師範大学 ☆♡

National Taiwan Normal University

日本人300人が学ぶ、台湾最大のマンモス校

◇http://www.ntnu.edu.tw/ ○2~3ヶ月

◆40・50代のベテラン教師が大半。台北まではバスで15分の近さ。7~10人クラスの少人数制

【T】マッセイ大学 ☆♪♡

Massey University

ニュージーランドラグビーの本拠地

◇http://www.massey.ac.nz/ ○3週間、半年、1年

◆留学生の相談に乗る専任スタッフの数がとても多いので留学に自信のない学生でも安心

【U】アジア学院 ♪

Asian Rural Institute

アジア・アフリカの人々と一緒に農業体験

◇http://www.ari-edu.org/main.html ○3週間

◆世界中から研修で集まってきた人々と寮で自給自足の生活。毎日採れる新鮮野菜が楽しみ

【V】サマースクール ♪

Meisei Summer School

こどもが大好きなひとなら、一石二鳥

◇http://homepage2.nifty.com/meiseisummerschool/

○2週間 ◆英語教員を目指す人のために、まずは学科内でプチ実践。最終日には感動の涙も

「最近の国際コミュニケーション学科」

最近国コミ内をにぎわせている話題、それは《留学》。

そこでみんなに聞いてみた。どこに留学するのか、なぜその国を選んだのかを。

私が聞いた中で一番多かったのは、オーストラリア。なぜかという、治安が良く、人柄も良く、そして日本と気候が似ていて過ごしやすい、とのこと。次に多かったのは、ニュージーランド。ほぼ似た意見だった。そして次は米国。中でもカリフォルニア州サクラメントが多かった。理由はフィールドワークが一緒にできて、アメリカの留学先4つのなかで一番楽しんでいる、英語以外に、音楽、ファッション、若者の文化を学べるから。そして次がイギリス。イギリス英語とアメリカ英語の違いに、興味があるそう。そして最後が私も行くアイルランド。他の留学先に比べてマイナーだけど、自然が多くとてもきれいな国である。

みんな行き先はそれぞれ違うけれど目的は、英語を学びつつ、異文化に触れたいという気持ち。みんなが留学から帰ってきて、変わった姿で会うのが楽しみだなあ。(ゆきっち)

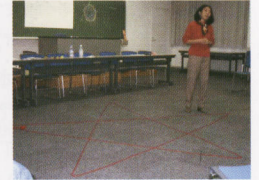
「学科開設イベント第五段終了!」

11/26、シュタイナー学校のカリフォルニア州サクラメント校から岡田 有子先生がいらして、授業をして下さいました。

シュタイナー教育とは、例えば数字の5を頭の中だけで理解するのではなく、体の感覚としてとらえて理解しようという手法。机上を飛び越え、より体感的&直感的に物事を学べるのが特徴だそうです。実際にその授業を受けた学生たちに授業の感想をインタビューしてみました。Oさん「数学なのに体を動かして学ぶことができることに感動しました。こんなに楽しく勉強できるなら、数学は難しいという気持ちが無くなるだろうな」。Uさん「知らないうちにシュタイナーマジックにかかった感じがした。数学を勉強している感じでもなく、英語を勉強している感じでもなく、不思議な世界でした」。

シュタイナー学校の教育法は驚くほど特殊です。まず、12年制の一貫教育で、同じ敷地で同じ校舎で12年間学びます。担任教師は1~8年生まで持ち上がり制で、1年生から外国語を学び、5・6年生では第2外国語を学び始めます。そし

て、教科書もテストもなく、校長先生もいません。成績は数字評価ではなく、先生からの言葉や詩をもらいます。シュタイナーの先生は全員、シュタイナー学校の教師になるための教育を受けています。日本の教育法、世界の教育法を覆すかのような、このシュタイナー教育が今、世界中に広がっています。ヨーロッパでは376校(ドイツ166校)、南北アメリカ・アジア・オーストラリア・アフリカでは172校にも達しています。日本にも1校だけシュタイナー教育を実践している学校がありますが、6年制の未認可です。いつかシュタイナー教育がいまより更に多くの国で実践され、日本でも実践される時が来るのでしょうか。どんな学校になるのだろうかと思うだけでとてもワクワクします。(まーみー)



オーストリアの哲学者ルドルフ・シュタイナーによって始められたシュタイナー教育。より直感的に、より包括的に、より身体的に会得するテクニックは、学習という作業を魅力あるものに変えてくれる魔法。今回のイベントは「英語」を学ぶ方法の中にこんなやり方もあるんだということを、みんなが知ったきっかけとなりました(編集部)

「こんなこと、やりました!」11▶12月編

「平和学授業スペシャルイベント」

11/9、UNHCR(国連難民高等弁務官)駐日事務所副代表の岸守 一さんに、「世界の難民と私達」をテーマに講演を頂きました。

私が難民問題に興味を持ったのは中学生の時でした。TVや新聞で難民のことを知り、普段食べ物に困ったことがなかった私は強いショックを受けました。それから私は少しでも多くの人が幸せに暮らしてほしいと思い、難民を援助する仕事がしたいと思うようになり、そしてNGOやJICAの存在を知りました。今回UNHCRの講演

を聞き、初めてUNHCRの存在を知りました。

私はインターネットなどで今の難民の現状を少しは知っているつもりでしたが、講演では私が知らなかったことをたくさんお話して下さいました。とても勉強になりました。日本とアフリカでは距離も離れていてあまり考える機会がありませんが、今まで難民についてあまり知らなかった人も今回の講演で難民のことを考える良いきっかけになったと思います。

岸守さんは、今の自分の仕事に誇りを持っているとおっしゃいました。私も将来、岸守さんと同じ事が言えるように今のうちから少しでも知識を増やしていこうと思いました。私たちが今、できることとして、寄附もしようと思いました。そして一人でも多くの方が幸せに暮らし、NGOやUNHCRの援助がいらなくなる日が来ればいいなと思いました。(かえ)

担当職員より:これからも「平和学」の授業では、さまざまな活動家をお招きして、現場の空気を持ってきて頂こうと思っています。次回を乞うご期待!(毛利)

左から二番目が岸守さん



「ディベートの授業をのぞいてみたら」

国際コミュニケーション学科では、初のディベート授業が行われました。

テーマは「自衛隊はイラクから撤退すべきか」など。このテーマについてYesとNoのチームを作り、それぞれが事前に調べたことを基に議論をするという授業です。

それに参加した太田黒 力君に感想を聞きました。「自分も話すことが好きなので楽しかったけど、いざやってみると難しい。1人の意見じゃなく4人がまとまって意見を出していかなければならないし。情報収集不足だったことを少し反省したけれど、でも4人で力をあわせるとおのずと答えが見えてきて、力を合わせたことでできた達成感もすごく良かったです」。

会社で仕事をする時に必要な「グループワーク」。その方法を身につけることが、授業の目的でもあったようです。(まさ)



明星大学の図書館の地下に、すごい場所発見!シェイクスピアなど300年以上前の貴重な本が保管してある場所なのですが、ここ、まず入る前は、手を洗わなければならないのです!銀行のお金が保管してあるような所にある分厚い扉と牢屋のような柵を抜けると、メインの本が保管されている部屋に到着。気温は常に25度、湿度は50%を保つために、厳しく管理されています。部屋の雰囲気はヨーロッパにワープした感じで、キャップにジャージを着た私には、かなり場違いな模様。



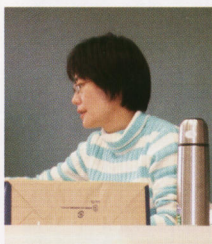
先生はこれらの本がどれくらい価値があるのか説明してくれました。「ある研究者曰く、この本を1ページめくる価値をお金に換算すると、数万円だそうです」。えっ?マジで?私は改めて、いや初めてそこにあった本たちの価値の高さを知りました。さらに先生は「本に負担をかけないように…」と言って、本の開き方、扱ひ方を説明してくれます。私は生まれて初めて、人間より偉い本があることを知りました。あの部屋では確実に本たちが一番偉い!大学院の授業で行ったのですが、テストより緊張しました。そんな本の前では鼻息をすることもはばかれ…。この90分の間に、私は100万円分、ページをめくったかもしれません(笑)。(たまりん)

私達の施設自慢
他大学には絶対になににないに違いない特筆すべき施設とは?

学科の大部分の学生が受講しているコミュニケーション外国語(英語)。その裏番組のような位置に、コミュニケーション外国語(中国語)が存在しています。中国語を専攻する学生だけが受けているごく少数の講義、担当は張曉瑞(ジャン シャオリイ)先生。その授業風景はすこし風変わりです。「授業中でお腹がすいたら何かを食べてしっかり授業を聴きなさい」「聴く姿勢はどんなでもいいから、耳はきっちりこちらに向けていなさい!」。というわけで、机の上に寝転がっている人も(笑)。張先生に言わせれば「結果、ちゃんと授業を聴いていればそれでよし!」なのだそう。

覗いちゃったオモシロ授業
コレハオモシロイ! そんな授業を学生記者が体験レポート

そんな張先生ですが、出された課題にすぐに取り掛かれない学生たちには一喝! 流暢な日本語で次々と信じられない脅し文句(笑)が飛び出します。そして「早くして!」と、どんどん学生を急かします。あまりにもパワフルな先生に、学生がよく使う言葉は「休止一会儿吧」(すこし休憩しませんか)という中国語。しかし張先生は「何言ってるの。ほら早く、次!」。中国人の先生が日本語で話し、日本人の学生が中国語で答えるという、なんともユニークな授業風景でした。(じん)



今回は、英米文化・文学コース担当の岩下俊治先生の研究室に伺わせていただきました。岩下先生は、もともと理系でパソコンを使う事が得意なので、パソコンによる英語学研究などもしているそうです。「コミュニケーション外国語 I c」の授業では唯一の日本人の先生です。研究室にはたくさんの書籍があり、たくさんの映画のシナリオ(今回は「THIRTEEN DAYS」というシナリオを見せていただきました)もありました。私

生活ではクリスチャンで、生活の信条として聖書は大切にできているようです。明星大学の学生の印象を伺った所、素直で真面目な学生が多いそうです。しかし、先生の言うことを良く聞きすぎて、自分の方からは積極性が少ないとおっしゃっていました。また、国際コミュニケーション学科の学生へ英語を勉強するにあたって、「ある程度の単語力、表現力、基礎的な構文を知っておくこと。日々の積み重ねが大事であり、大学内だけではなく自宅でも努力すること。」というコメントもいただきました。皆さんもぜひ岩下先生の研究室へ遊びに行ってみてください。自分の知っている映画のシナリオがあったら見せていただいたり、キリスト教について今まで知らなかったことも語ってくれたりするかもしれませんよ。(かおりん)

探検! 教員の研究室
研究室を訪問し、知られざる教員の素顔に迫ってみた

気になるあの子にインタビュー!
どんな子が何をしているのかな?

今回は「教えてネモちゃん!」の巻です。彼の名は根本晃輔君です。今、一番気合いを入れているのが部活だそう。彼の所属はフォークソング部。どうして部に魅力を感じたかを聞いてみると「本気でバカやるところに魅力を感じた。しかもフォークソング部なのにロックしてるなんてヒネクレ感が最高じゃん!」と青春を感じさせるコメントをくれました。音楽をやってる時の自分を

一言で言うと「暴れヌンチャク(?)」と根本ワールド炸裂です!担当楽器は「ギターとロックとヒゲとグラサン。でもドラムもベースもボーカルもキーボードも全部やるよ」と言っていました(笑)。フォークソング部をアピールしてもらおうと「クレイジーが勢揃いした素敵なロックバカ集団。学校のスタジオ使い放題だし、一年中音楽に触れていられる!」。素敵なロックバカ…イイねえ(*^_^*)。最後に根本君から一言!「なんかレッサーバンドが立ったらいいですね、かわいいじゃねーか!本気でバカになれるって素敵なことよ。こないだ入学したと思ったのにもう一年が終わるね。人生って短いと思う。一度しかない人生だから俺は一生バカでいようと思います」。根本君のバンド姿は最高です!今後、ネモは世界にはばたきます!(おばちゃん)



Wanted

◆これは是非載せて欲しい!の記事&情報大募集

このフリーマガジンは、みなさんと作っていくメディアです。より充実した内容にしていくために、どんな些細なことでもネタをお待ちしています。

◆応募は明星大学 人文学部 国際コミュニケーション学科編集部まで

〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 Tel 042-591-5329、またはメールinfo-com@eleal.meisei-u.ac.jp

◆~主任教授より、今年度を振り返って~ 笠原 順路

どの組織でも、第一期生というものには、独特の個性と味があるものだ。それは、思うに、組織立ち上げに際しての関係者の深い思い入れというものが、一期生に映っているからだろう。その深い思い入れとは、往々にして現実を顧みない無謀な理想主義に偏っていることもあるし、時に失敗を誘発することになるかもしれない。しかし、それでもなお、そこには、理想主義にしかない何か一途なエネルギーがあって、私はそれが好きだ。国際コミュニケーション学科の一期生の諸君にも、我々教員の熱意と情熱が、良きにつけ悪きにつけ、直接間接に反映している、と私はみている。その反映がすぐに現れる場合もあれば、あと数年、十数年してから現れてくることもあるだろう。我々の鏡である一期生諸君を、これからも教員一同いっそう磨いてゆくつもりである。鏡よ、光れ。

- ◆【編集スタッフの呟き】
- ◆インタビューの時、すっごく緊張しました!
- ◆けど、普段の授業の内容とは違って先生のプライベートな話も聞けたので、非常に良い経験で楽しかった!(かおりん) 雪が降ると雪だるまを作りたくなります。最近のマイブームは雪だるまを美形にする事。真ん丸い身体に、生首みたいにリアルな白い顔が乗っかって、すごく気持ちいいですよ、笑。(じん)
- ◆この前私は、今活躍中のピン芸人(ヒロシ・陣内・パッション・ネゴ・あべこうじ・長井)と会い、今ならこの中の一人ともれなくコンビを組めると言われ、あべこうじとコンビ組んだの!!!!ってピミョーな夢見たよ…(おばちゃん) チェックシートを作っていたら、自分が留学に行く気分になった。私ももう一度、今度は欧米圏に留学してみたいなー(しら)

【訂正箇所】

◆ 表面、タイトル部分1行目

×誤 2005 → ○正 2006

◆ 中面左、左上ピンク枠内

7行目 ×誤 ☆コンテクストスタディ：異文化コミュニケーションコースの必修科目として扱われる → ○正 ☆コンテクストスタディ：英米文化・文学コースの必修科目として扱われる

9行目 ×誤 ♪フィールドワーク：英米文化・文学コースの必修科目として扱われる → ○正 ♪フィールドワーク：異文化コミュニケーションコースの必修科目として扱われる

◆ 裏面 中段左コラム内16行目

×誤 休止一会儿吧 → ○正 休憩一会吧

